

N U K U M O R I

ぬくもり

No.49
2017.10.20発行



宇佐市乙女新田に生息する「魚捕り名人」ミサゴ

基本理念

地域医療への貢献
「肌のぬくもりある医療」の実践

基本方針

- 一、 救急医療充実のため、診療連携の強化に努めます。
- 一、 高度医療の実施、チーム医療の推進に努めます。
- 一、 患者様の立場にたった医療サービスの提供に努めます。
- 一、 職員が働きやすく、誇りを持てる病院を目指します。

肌のぬくもりある医療



私達は笑顔を大切にします

宇佐高田医師会病院

〒872-0102 大分県宇佐市大字南宇佐635
TEL.0978-37-2300(代) FAX.0978-37-2307
<http://www.utihp.jp/>



CONTENTS

ドクターのお話	2
九州北部豪雨 災害支援報告	4
大規模地震時医療活動訓練に参加して	5
供養盆踊り	6
平成29年度 看護力再開発講習会(研修I)	6
リレー・フォー・ライフ・ジャパン2017大分 開催のお知らせ	7
医事課よりお知らせ	7
外来担当医師一覧表	8

ドクターのお話

外科医師
江上 拓哉

乳癌について

今年は著名人が乳癌で亡くなるニュースもあり、乳癌についてテレビなどで耳にすることも多いかと思えます。そこで、今回は乳癌の治療の一般的な流れについて簡単に説明したいと思います。

乳癌の治療は局所療法と全身療法の両者を組み合わせて行っていくきます。局所療法とは手術や放射線治療。全身療法とは抗がん剤などの薬物療法のことを指します。昔は乳癌の治療は手術が主体だったので

が、乳癌は早期から癌細胞が全身を回る全身病という考え方が近年普及しています。乳房だけを治療しても他の内臓の毛細血管にひっかかった癌細胞がそこで増殖し転移という形になって現れるというイメージです。そのため、血管内を回っている癌細胞に対する治療として薬物治療が必要なのです。

それぞれの治療について説明していきます。手術は乳房全切除と乳房部分切除に分けられます。この2つは病変の大きさや位置に応じて選択しますが、乳房部分切除の場合は乳房に癌細胞が残っているかもしれないので、手術後に放射線治療を追加します。また、乳癌では乳房の手術に加えて腋のリンパ節を切除しますが、現在は表面のリンパ節を摘出し手術中にリンパ節に癌細胞があるかどうかを検査し、癌細胞がなければ腋の深い部分は切除しないようになってきています。

次に薬物療法ですが、薬物療法には抗がん剤、分子標的剤、ホル

モン剤があります。手術で摘出した癌細胞を詳しく調べることによ

り、一人ひとりの患者さんに対するどの薬物療法が適しているかを決定します。したがって3種類全ての治療を行うべき人もいれば1種類だけの人もいます。それぞれの薬剤について説明すると、抗がん剤とは一般的なイメージ通りで、

髪の毛が抜ける・白血球が少なくなつて免疫力が落ちる・吐き気が出るなどの副作用があります。これは癌細胞のみでなく正常細胞まで攻撃してしまうからですが、癌細胞を直接殺すことができる薬剤

は抗がん剤のみです。分子標的剤というのは癌を殺す薬ではありません。癌細胞の増殖スイッチを入れる分子が癌細胞に近づかないようにブロックするようなイメージです。したがって正常細胞にはあまり悪影響を及ぼさないため強い副作用はありません。ホルモン剤も同様に癌細胞を殺す薬ではありません。乳癌細胞は女性ホルモンによつても増殖スイッチが入る性

質があるため女性ホルモンを抑えるための薬です。副作用は女性ホルモン低下によるものなので更年期障害です。

これが乳癌治療のおおまかな流れですが、手術は受けずホルモン剤だけ内服し乳癌が少しずつ小さくなる患者さんもいますので胸にしこりを感じたら心配せずに我々にご相談下さい。

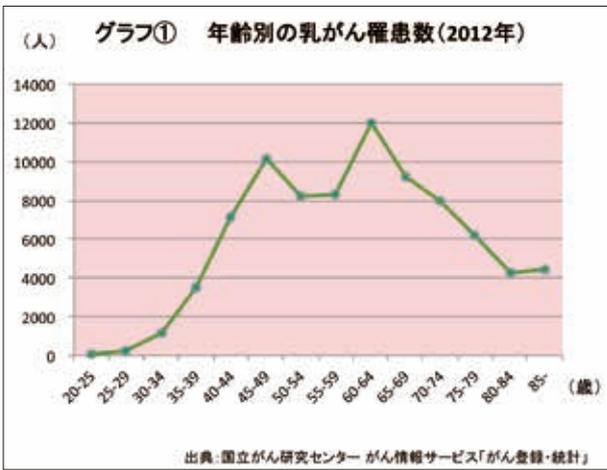
みなさんができるだけ苦痛なく、できるだけ心配事がなく、できるだけ笑顔で毎日を送っていただけますように。



乳腺外来スタッフより

日本で乳がんにかかる女性は年々増加しており、現在は11人に1人の割合で乳がんにかかるといわれています。乳がんになりやすい年齢は30歳代後半から増え始め、40歳代後半にピークを迎えますが、その後60歳代前半で再びピークを迎えます。(グラフ①)

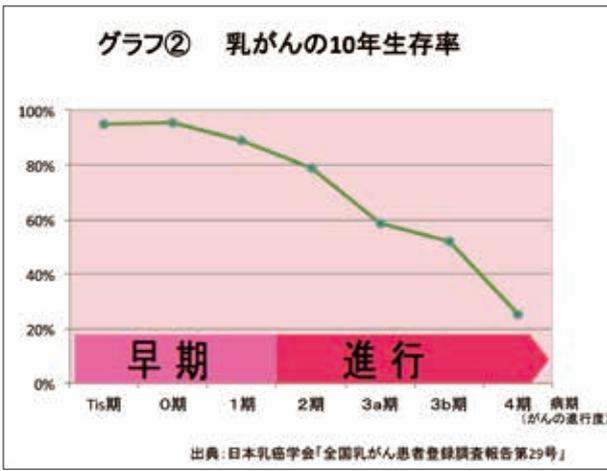
乳がんは、他のがんと比べて罹患数が多いですが、死亡率は低いがんです。つまり乳がんは、早期で発見し適切に治療を受けることによって約9割の方は治ります。



(グラフ②) しかし、患者数の増加に伴い、死亡数もやや増加しています。乳がん検診の受診率は、昔よりも高くなっていますが、欧米や韓国よりも低い水準です。(2016年過去2年間の日本乳がん受診率: 36.2%)

『自分は大丈夫』や『検査は時間がかかるし面倒』と思わず、まず受診をしましょう。症状がない方は、乳がん検診を受けて下さい。当院の検診センターでは乳がん検診を行っています。何か症状がある方は病院受診をして下さい。当

院では毎週水曜日の15時から乳腺外来を行っています。当院、当検診センターでは、乳がん検査にかかわる技師はすべて女性です。マンモグラフィー認定や乳腺エコー認定、ピンクリボンアドバイザーを取得した技師がいまので何か疑問点や心配なことがありましたら気軽にお尋ね下さい。



院では毎週水曜日の15時から乳腺外来を行っています。

当院、当検診センターでは、乳がん検査にかかわる技師はすべて女性です。マンモグラフィー認定や乳腺エコー認定、ピンクリボンアドバイザーを取得した技師がいまので何か疑問点や心配なことがありましたら気軽にお尋ね下さい。



宇佐高田医師会病院 乳腺外来(予約制) 毎週水曜日15時〜

宇佐高田地域成人病検診センター

TEL 0978-3712451

ピンクリボンアドバイザーってなに?

乳がんや、乳がん検診、乳がんの治療、ピンクリボン運動について正しい知識を学んだうえで、主体性をもって行動する新しいボランティアです。周囲の人々が乳がん検診を受診するきっかけをつくる活動をベースに、乳がんにかか

わる問題を理解し、その解決のために行動することが期待されています。認定は試験に合格することでも得られます。医療関係はもちろん一般の方も受けられますので、これをきっかけに乳がんのことを学び、周囲の人にも伝えられるようになってみてはいかがでしょうか?



女性検査技師



女性放射線技師

九州北部豪雨 災害支援報告

九州豪雨災害では、「大分県看護協会災害支援ナース」として当院看護師2名と、大分県庁の派遣要請により当院の大分DMAT業務調整員2名が日田市の避難所にて支援を行いました。九州豪雨災害の被災地の皆さまに心よりお見舞い申し上げますと共に、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

〈大分県看護協会災害支援ナース〉

4階病棟看護課長 植田 聡子

7月13日～15日に日田市の大鶴公民館に派遣されました。

福岡県と隣接した場所で大量の雨と流木で川が氾濫し被害が大きかったようです。車両の通行は可能でしたが、橋げたごと流され通行止めとなつているところも残っていました。5年前の水害の被害とは比較にならないとのことでした。

高齢者の方々が避難されていましたが、お元気な方が多く生活に援助を要する方はほとんどいませんでした。また、自助公助の意識が高く、



橋げたごと流され通行止めになった橋

再建に向けて昼間は自宅の片づけに戻り、避難所では食事をして就寝するという生活をされていきました。

被災者の生活に寄り添おう・・・と思いながら、避難所にはいりませんが、避難所は比較的落ちついていました。しかし、必要以上にマスクや医療関係者の訪問が多く驚きました。

災害支援ナースは誰よりも一番に被災者の身近にいて、情報を持っていくので、その情報をしっかり伝達・記録記載し、医療関係者の間で、共有しなければと思ひ活動しました。これは病院業務でも同様なので自ら

意識して行動しスタッフにも周知徹底しよう・・・と気持ちを改めることができました。

〈大分DMAT業務調整員〉

放射線科主任 山本 順次

7月に起きた九州北部豪雨で大分県庁より派遣要請があり、DMAT業務調整員として7月13日～14日に、日田の災害後方支援に行つてきました。派遣依頼があつた理由として、急性期や医療ニーズではなく日田地域の医療が復興するのを手助けすることが目的でした。

業務内容としては、災害支援で出動しているDPAT・J RAT・DVTチームの活動内容や各避難所の動きなどを朝夕の会議で話し合い、それを議事録としてまとめたものを県庁へ報告することが主な仕事でした。

前日より日田に派遣されている業務調整員から仕事の引き継ぎをしましたが、事前に日田の災害支援情報を頂いていたのと先発隊で派遣されていた業務調整員の方が仕事の整備をしていくれたおかげで、業務もやり易く無事終えることが出来ました。



避難所のダンボールベット

今回初めてDMAT派遣として災害の後方支援をさせてもらいましたが、被災している人達の裏側で色々な人達が尽力している姿が見られ、とても貴重な経験をする事が出来ました。

今回の出動で得た経験を災害拠点病院である自院で生かせるように日々努力していきたいと思ひます。

DMAT・・・災害派遣医療チーム
DPAT・・・災害派遣精神医療チーム
J RAT・・・大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会
DVTチーム・・・深部静脈血栓症調査班

大規模地震時医療活動訓練に参加して

大規模地震時医療活動訓練とは、内閣府主催の南海トラフ地震を想定した「南海トラフ地震における具体的な応急対策活動に関する計画(平成27年3月策定)」等に基づき、大規模地震時医療活動に関する総合的な実動訓練を実施して、当該活動に係る組織体制の機能と実効性に関する検証を行うとともに、防災関係機関相互の協力の円滑化を図るものです。今年度は、7月28日～29日に、近畿(大阪府、兵庫県、和歌山県、三重県)を中心に訓練を実施しました。近畿地区からの訓練参加病院は94病院、全国からは330病院(DMAT351チーム)、合計1706名の参加のもと実施されました。

当院からは医師1名、看護師2名、事務調整員1名が参加し、大阪伊丹空港に参集、本部からの指示のもと大阪の岸和田公園に設置された救護所での活動となりました。主な活動内容は災害現場から搬送された患者を被災地外の安全な医療機関に搬送するために、救護所で患者の治療を行い安定化させ、航空機等での搬送ができるようにするというものでした。この救護所は大阪赤十字病院が展開しており、救護所内には重症者の治療ができる設備や医療資器材などがそろっていました。その医療資器材を使用して大阪赤十字病院のスタッフと医療活動訓練を行いました。

今回の訓練参加で学んだ知識等を今後の災害時の医療救護活動に当院でも役立てていきたいと思えます。

<日本DMAT業務調整員>
臨床検査課 江熊 希美



供養 盆踊り

8月26日、検診センター前駐車場にて、宇佐高田医師会病院の供養盆踊りを開催致しました。

伏田・日足・宇佐中央地区の皆様には、踊りの練習や会場の準備・片付け等のご協力、また、当日の踊りに参加して頂き有難うございました。

当日は、午前中の雨で開催が危ぶまれましたが、皆様方の想いにより、天候は回復し、19時より受付を行い、



19時20分より西村理事長、柏木院長から物故者・ご遺族の方々への追悼の意が表され、供養盆踊りが始まりました。

地区の皆様が、昨年より更に素晴らしい竹灯籠を設置して下さり、大変幻想的な雰囲気の中、大きな三重の踊りの輪が出来ました。

来年も多数のご参加、ご協力をお願い申し上げますと共に、今回多くのご参加をいただき、大変良い供養を行うことができましたことを感謝申し上げます。

事務部長 熊谷 嘉典



平成29年度 看護力再開発講習会(研修Ⅰ)の講師をさせていただきました。

日時：8月9日・9月13日 10:00～15:00

場所：宇佐市医師会 大研修室

対象者：看護業務についてなく就職を希望する、保健師・助産師・看護師及び准看護師

主催：大分県看護協会(大分県委託事業)

担当内容：8月9日・・・病院における看護の役割及び看護の現状

看護部長 柳田美雪

9月13日・・・院内感染の現状・標準予防策

感染管理認定看護師 是永香織

採血・静脈注射の説明と実技

副看護部長 辻 珠美

現在の医療機関や介護施設等における最近の看護知識及び技術を習得され、職場復帰しやすくすることが目的で、西部地区・南部地区・北部地区の3つの地域で開催されました。北部地域の保健師・助産師・看護師及び准看護師の免許所有者で、看護業務についてなく就業を希望される方を対象に、2回コースの一部(上記内容)を当院の看護師が、講師をさせていただきました。

参加人数は3～4人と少なかったのですが、10～20年間のブランクがある方々の、再就職のきっかけ、地域の看護業務支援の手助けができればと思います。1人でも多くの看護職の職場復帰を願っています。



リレー・フォー・ライフ・ジャパン2017大分

～好きっちゃ大分 笑うち いこうえ！～

開催のお知らせ

とき：11月3日（金）10：30～11月4日（土）11：00まで

場所：大分スポーツ公園 大芝生広場

<リレー・フォー・ライフについて>

がん患者や家族、そして彼らを支えている方々が公園やグラウンドを会場に交代で24時間にわたり歩くことにより、「がん征圧」への願いや「がん」に対する理解、そして絆を深め合うチャリティイベントです。

<リレー・フォー・ライフ・ジャパン大分について>

2008年10月、九州で初めて開催されたリレー・フォー・ライフ。

最初に声を上げたのは、たった一人の女性医師。そして、その女性医師は「がん患者」でした。

「がん」になったけどわるいことばかりじゃないよね。

いろんな仲間に出会えて素直になれたし、自分らしさをとり戻せたよね。

どんな時も心配しないでいいよね。誰かそばにいてくれるよね。

そんな優しさに包まれたリレー・フォー・ライフ・ジャパン大分が毎年開催されています。



<宇佐高田医師会病院の取り組み>

当院では、2009年10月より、「がんは24時間眠らない」「がん患者は24時間がんと闘っている」というアメリカ人外科医のメッセージに賛同し、職員が24時間交代でたすきをつないで歩いています。

また、ルミノリエという灯籠に、患者さんからメッセージを書いていただき、夜歩く人々に希望の光を灯しています。

受付に置いてある募金箱で集まったお金は、日本対がん協会へ寄付し、助成金制度による新薬の開発・若手専門医師を育成する奨学金・がん患者や家族のための無料電話相談サポート活動などに役立てられています。

会場では、コンサートやダンスなども行われ、夜になるとルミノリエの光がそれは美しいです。

医事課よりお知らせ

インフルエンザ予防接種希望の方へ

宇佐市・豊後高田市在住の65歳以上の方・・・1,000円

64歳以下の方・・・・・・・・・・・・・・・・・・4,140円

*当院では15歳以下は取り扱っておりません。

●接種期間

H29.10/1～H30.1/31

詳細は受付までおたずねください。

外来担当医師一覧表

時間帯	科 別	月	火	水	木	金	土
午 前	循 環 器	陣 林	篠 原	齋 藤 陣林(パースメーカー)	—	陣 林	—
	外 科	庄 野	柏 木	蔵 田	江 上	柏 木	—
	消 化 器	石 田	中 島	岡 嶋	中 島	石 田	—
	呼 吸 器	—	望 月	本城(第2・第4)	望 月	—	—
午 後	循 環 器	—	—	—	近 藤 (心カテ検査)	—	—
	外 科	—	—	(乳腺検査)	—	—	—
	腎 臓 内 科	—	—	—	—	有馬(第1・第3)	—
	血 液 内 科	—	—	—	幸野(第3)	中山(第2・第4)	—

氏 名	専 門 領 域
陣林 伯男	循環器 内科一般
近藤 克洋(非常勤)	循環器科一般
篠原 徹二(非常勤)	循環器 内科一般
齋藤 聖多郎(非常勤)	循環器 内科一般
石田 健朗	消化器科一般
岡嶋 智也	消化器科一般
中島 仁典(非常勤)	消化器 肝臓病 内科一般
有馬 誠(非常勤)	腎臓内科一般
中山 俊之(非常勤)	血液内科 内科一般
幸野 和洋(非常勤)	血液内科 内科一般

氏 名	専 門 領 域
柏木 孝仁	消化器外科 下肢静脈瘤 外科一般
庄野 正規	消化器外科 外科一般
江上 拓哉	消化器外科 外科一般
蔵田 伸明	消化器外科 外科一般
望月 淳	呼吸器内科 老年科
本城 心(非常勤)	呼吸器内科



●外来受付時間

午前8:30~11:00 (午後の特殊外来は、午後3:00まで受付)
 予約の患者様が優先になります。ただし、急患はこの限りではありません。
 ※当病院は、原則として紹介状が必要です。

●診療時間

午前9:00~12:00/午後1:00~4:00

●休診日

土曜日午後、日曜日、祝祭日、年末年始(12/30~1/3)

●予約受付時間

平日 午後2:00~5:00

編集後記

先日の台風18号では、大分県南地域が大きな被害を受けました。被災されました皆様に心よりお見舞い申し上げますと共に、皆様の安全と被災地の1日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

大分県庁防災対策室のホームページによると、各家庭の備蓄品として、被災してライフラインや流通機能がストップした時に外部からの支援が届くまでの数日間(最低3日間)の水(飲料水は大人1人当たり、1日3Lが目安)や食料などを、持ち運びしやすい収納ケースなどに入れて、キッチンや押し入れなどに分散保管すると良いそうです。防災のために特別なものを用意するのではなく、普段の生活の中に組み込んで、日ごろ使うものを少し多めに蓄えたと無理なく備蓄ができるそうです。

日頃からの備蓄が災害への心構えにもつながりますので、ぜひ取り組まれてみてはいかがでしょうか。

ぬくもり No.49 2017年10月20日発行

宇佐高田医師会病院

〒872-0102 大分県宇佐市大字南宇佐635
 TEL 0978-37-2300(代) FAX 0978-37-2307

ホームページ <http://www.utihp.jp/>

これまでの広報誌「ぬくもり」もホームページで閲覧できます。



- 地域医療支援病院
- (財)日本医療機能評価機構認定 (機能種別版評価項目3rdG:Ver.1.0)
- 第2次救急指定医療機関・災害拠点病院(大分DMAT指定病院)
- 僻地医療拠点病院・大分県HIV診療協力病院
- 第2種感染症指定医療機関(SARS初療機関)
- 大分県重症難病患者医療ネットワーク基幹協力病院
- 協力型臨床研修病院・循環器専門医研修関連施設
- NST稼働施設認定病院
- 日本消化管学会胃腸科指導施設
- 肝疾患診療協力医療機関